

(別紙 12)

大学「地(知)の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください(様式は自由です)。

実習企業・機関	最上広域交流センターゆめりあ
実習期間	令和 元年 8月 28日 ~ 令和 元年 9月 1日
学生氏名	菊池 陽貴
実習プログラム	1日目午前 株式会社 東北情報センター 午後 雪の里情報館 2日目午前 わくわく新庄 午後 最上広域交流センターゆめりあ 3日目~最終日 最上広域交流センターゆめりあ
学び・気づき (300字程度)	株式会社東北情報センター、雪の里情報館、わくわく新庄、最上広域交流センターゆめりあ等の4つの機関で様々な知識をつけたり、学ぶことが多くあった。特に自分に足りないスキルを実習で見つけられたのは大きな収穫だと思う。また、コミュニケーションの方法として、自身についての話や世間話によって相手と打ち解けやすくなったと感じた。5日間を総合的に振り返ると自分のテーマであった実際の業務や社会で働くことについてのイメージを掴むというのができたと思う。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	今後は自分に足りていないと感じるスキル面の成長が必要だと思った。そのひとつに文章表現力をあげる。文章表現力は今後、エントリーシートや卒業論文を書く際に必要なスキルとなってくる。職員さんに文章を書く際のコツを教えていただいたため、そのアドバイスを意識しながら取り組んでいきたい。さらに世の中の流れや話題を知るためにニュースなども意識して見るようにしようと思った。
インターンシップを して気づいた、実 習先の魅力 (300字)	今回、インターンシップを行った機関はすべて地域に根付いた施設である。少子高齢化や人口減少といった社会問題により施設利用者は減少していると聞いた。しかし、最上広域交流センターゆめりあで行った実習でアンケートを取った際に、地元の方は「この施設があって助かる」と言っており、より利用者を増やすための提案をしてくれる方もいた。その他の施設も地元の方の利用が多いため、地域の交流の場として利用されている点が魅力だと感じた。
写真(1~3点)	

